

# 調査研究活動実績

氏名 武石 利彦

平成31年度4月分の政務調査費研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

## 1. IoT技術を活用した農業の推進に向けての調査研究

担い手不足に悩む中山間地域の農業の課題を解決する手法として、IoT技術などを活用したスマート農業を推進することが急務となっている。これらの技術の導入がもたらす効果としては、省力化による人力の削減、先端技術に対する若手の担い手の関心を高め、農業への新規参入を促すなどが考えられる。

本年度は農業者からのニーズの把握を調査するとともに新潟県などの先進地を県・町の担当者と視察し、解決すべき課題の抽出を行なった。

来年度からは実際に実践している民間業者などと連携して、現場において実証を進める予定である。

## 2. ドローンの利用促進に向けての調査研究

ドローンの利活用は、一次産業の振興、危機管理体制の強化、安全で安心な中山間地域の暮らしづくり、観光振興、若者の地域への定着など、多大な効果が期待できる。

よってドローンの活用に向けての地域のニーズの調査に努めるとともに解決すべき地域の課題の抽出を行なった。

中山間地域の高等学校などと協働し、ドローン活用を高等学校の魅力化に繋げる取組みなどを通じ課題解決に向けた実践に取り組む。

## 3. 集落活動センターの活性化について調査研究

センター運営において解決すべき課題を浮き彫りにし、どのようにすれば自立し、持続的に運営できるのかといった課題について調査研究を行った。

#### 4. 一次産業の振興についての調査研究

一次産業の六次産業化の取組みについて情報収集をするとともに、課題を浮き彫りにするなど、課題解決に向けた取組みをした。

#### 5. 観光振興についての調査研究

来年4月から運行される予定の土讃線高知駅～窪川駅間の観光列車に対して地域活性化にどのように結びつけるのかJR四国と地域を結びつける取組みをした。

以上